

「地域政策コーディネーターを養成する大学院教育プログラム」
2018年度開講科目概要

授業科目	担任者(所属)	授業概要	期間	開講 曜限	開講 キャンパス
履修証明プログラム科目(選択科目)					
まちづくりと地域福祉	足立 啓(元関西大学教授)	少子・高齢社会で直面する様々な諸相を踏まえ、誰もが安心して日常生活を継続しうるまちづくりが求められる。講義では生活環境整備やまちづくりの手法やシステムを地域福祉の視点から国内外の様々な事例を参考に考察する。	春	火・6	梅田
非営利法人の政策と経営	初谷 勇(大阪商業大学教授)	近年、NPOに関する制度改革や、政府・民間セクターによるNPO政策の展開が著しい。それらの動向を支える理念や志向を踏まえた上で、新たな社会課題の解決、地域コミュニティ再興に、非営利法人の果たす役割を検討する。	秋	火・6	
行政情報と住民参加	田井 義人(摂南大学准教授)	住民サービス情報化の経過及び医療・介護分野において住民参加を目的として、行政が公助によって効果的な情報連携の仕組みを構築した市の事例等の考察によって少子高齢化社会における住民中心の情報化の方向性と有効性について考える。	秋	火・7	
リーダーシップと組織	小松 陽一(元関西大学教授)	リーダーシップは、集団、組織、地域社会等、多様な社会的場に創発し、政策創造やコーディネートを含む重要な機能を担う社会的行為である。この講義は、多様なリーダーシップの事例紹介を行ないつつ、リーダーシップの本質について議論する。	秋	木・6	
履修証明プログラム科目(必修科目)					
セミナー実習Ⅰ	石田 成則、宮下 真一 (関西大学政策創造学部教授)	受講生自らが興味や関心のある地域社会における課題やテーマを題材として議論、討論する演習科目である。関連する情報についての吟味や利害調整の選択基準を確立して、そこから地域社会における諸課題への政策提言や政策選択できる能力を涵養する。単なるお仕着せの知識を付与するのではなく、考える力、自考する力を身に付けさせ、知的探求心の育成を目的に、自ら解決策を導き出す思考力や発想方法を付与する。	春	火・7	梅田
セミナー実習Ⅱ	石田 成則、宮下 真一 (関西大学政策創造学部教授)	受講生自らが興味や関心のある地域社会における課題やテーマを題材として議論、討論する演習科目である。関連する情報についての吟味や利害調整の選択基準を確立して、そこから地域社会における諸課題への政策提言や政策選択できる能力を涵養する。単なるお仕着せの知識を付与するのではなく、考える力、自考する力を身に付けさせ、知的探求心の育成を目的に、自ら解決策を導き出す思考力や発想方法を付与する。	秋	木・7	
ガバナンス研究科科目					
ガバナンス研究特殊講義 (地域活性化システム論)	橋本 行史(関西大学政策創造学部教授) 他	東京への産業人口の一層の集中が進む一方で地方の過疎衰退が進展し、地域活性化が喫緊の政策課題となっている。本講義は重要度を増す地域活性化のメソドロジーについて、事例研究を通じて多面的にアプローチする。担当教員には、ガバナンス研究科教員のほか、前国土交通省政策統括官、環境都市工学部の教員及びOB、ならびに地域おこし協力隊で実践活動を行っている教員の計6名が当たり、文理融合型の授業として進行する。	春	月・7	千里山

<梅田キャンパス開講科目> 6限(18:30~20:00)、7限(20:00~21:30)

<千里山キャンパス開講科目> 6限(18:00~19:30)、7限(19:40~21:10)